

大学機関別認証評価に関する評価結果を踏まえた改善について（令和5年3月）

【実施にあたり】

本学は、福井大学内部質保証規程（令和3年1月27日福大規程第1号）第12条第1項に、「自己点検・評価，第三者評価及び外部評価等の結果に基づき，改善等が必要と認められるものについては，全学及び関係部局においてその改善等に取り組むものとする」と定めている。これは、本学における内部質保証を有効に機能させるため、様々な評価において指摘された改善点や質の向上に資する事項などについて、全学及び関係部局において適切に対応することを規定したものである。

今回、大学改革支援・学位授与機構によって実施された「令和4年度実施大学機関別認証評価」において、訪問調査時を含め、評価結果等で指摘された事項について、適切な対応を図ることとした。

【実施手順等】

今回の指摘事項への対応は、以下のように実施した。

- ①内部質保証実施小委員会に設置した認証評価対応部会は、指摘された事項について検討し、当該部会を含め関係部局に対応を指示した。
- ②上記に基づき、関係部局は具体的な改善等の対応状況を「評価結果等を踏まえた改善シート」に記載し、認証評価対応部会に提出した。
- ③認証評価対応部会は、上記について適切に対応されていることを確認した。

評価結果等を踏まえた改善シート

A	担当部会員	認証評価対応部会員（全学担当）		
	基準番号	全般		
	分析項目番号	該当なし	通算番号 (同一の分析項目の場合)	1
	確認事項が含まれていない事項、改善など対応が必要な事項など	<p>【令和4年10月31日】 認証評価に係る訪問調査B日程、訪問調査結果</p> <p>調査委員（主査）から、訪問調査における訪問調査結果について「改善を要する点の候補と考えているものはない」と講評された。</p>		
B	対応部署	認証評価対応部会員（全学担当）		
	具体的な、改善等の対応状況	<p>【令和4年10月31日】 認証評価対応部会において、講評結果により「改善を要する点」が指摘されなかったことから、特段、対応する措置を取らないことを決定した。</p>		
C	部会による確認（対応済み、対応不足の場合はコメント）	<p>【令和4年10月31日】 措置を確認した。</p>		

評価結果等を踏まえた改善シート

A	担当部会員	認証評価対応部会員（全学担当）		
	基準番号	全般		
	分析項目番号	該当なし	通算番号 (同一の分析項目の場合)	2
	<p>1. 確認事項が含まれていない事項、改善などの対応が必要な事項など (令和3年度中を目安として改善完了)</p> <p>2. 更なる質の向上に向けて取組むことが推奨される事項など (今後の検討課題)</p>	<p>【令和4年10月31日】 認証評価に係る訪問調査B日程、訪問調査結果</p> <p>調査委員（主査）から、訪問調査における訪問調査結果についての講評の中から、大学に伝えておかなければならない点。</p> <p>Wi-Fi の状況について</p> <p>1 文京キャンパスの一部で非常に繋がりにくい状況があるといった声があった。</p> <p>2 松岡キャンパスの中で使われている認証のためのアプリケーションがうまくいかないといった声もあった。</p> <p>(参考) 「Wi-Fi が繋がりにくい」という一部の学生からの意見について、自己評価書の中にも少し記載したと思うが、今年度、総合情報基盤センターで設備更新等があり、Wi-Fi のことも考慮して対応するという事になっている。(訪問調査終了後の意見交換)</p>		
B	対応部署	情報基盤センター		
	具体的な、改善等の対応状況	<p>【令和4年11月25日】</p> <p>1 文京及び松岡キャンパスの情報ネットワーク設備の更新（令和5年3月工事完了予定）に取り掛かっており、Wi-Fi の接続状況も改善される見込みとなっている。</p> <p>2 Google Workspace の利用に関して令和4年2月から2段階認証義務化を実施した際のことかと思われる。実施当初は多数の問合せが寄せられたが、総合情報基盤センターHPにおける説明の掲載や、新入生オリエンテーションの中で担当者から説明しており、現在では大きなトラブルはない。</p>		
C	部会による確認（対応済み、対応不足の場合はコメント）	<p>【令和4年11月29日】 改善に向けて、対応策を講じていることを確認した。</p>		

評価結果等を踏まえた改善シート

A	担当部会員	認証評価対応部会員（全学担当）		
	基準番号	全般		
	分析項目番号	該当なし	通算番号 (同一の分析項目の場合)	3
	<p>1. 確認事項が含まれていない事項、改善などの対応が必要な事項など (令和3年度中を目安として改善完了)</p> <p>2. 更なる質の向上に向けて取組むことが推奨される事項など (今後の検討課題)</p>	<p>【令和4年10月31日】 認証評価に係る訪問調査B日程、訪問調査結果</p> <p>調査委員（主査）から、訪問調査における訪問調査結果についての講評の中から、大学に伝えておかなければならない点。</p> <p>【指導教員制度について】 学生1人につき2人の指導教員をつける制度があるが、実際には面談の機会はなかった。</p> <p>(参考) 訪問調査後の学生アンケートに記載があった意見 大学への要望等：助言教員制度の機能化</p>		
B	対応部署	経営戦略課		
	具体的な、改善等の対応状況	<p>【令和4年12月7日】</p> <p>1. 助言教員制度の状況確認 教務課及び松岡C学務課へ、各学部・大学院の助言教員制度の内容と運用状況の取りまとめを依頼した。</p> <p>2. 制度が適切に機能させるよう改善依頼 役員・部門長等懇談会で、学生の意見を受けて部局での運用について再確認いただき、うまく機能できていない部局は対応を講じるよう依頼した。</p>		
C	部会による確認（対応済み、対応不足の場合はコメント）	<p>【令和4年12月7日】 改善に向けて、対応策を講じていることを確認した。</p>		

評価結果等を踏まえた改善シート

A	担当部会員	認証評価対応部会員（全学担当）		
	基準番号	領域 2		
	分析項目番号	2-3-1~3	通算番号 (同一の分析項目の場合)	
	<p>1. 確認事項が含まれていない事項、改善などの対応が必要な事項など (令和3年度中を目安として改善完了)</p> <p>2. 更なる質の向上に向けて取組むことが推奨される事項など (今後の検討課題)</p>	<p>【令和4年10月31日】 認証評価に係る訪問調査B日程訪問調査終了後</p> <p>訪問調査終了後の調査委員との意見交換において、本学の内部質保証について、調査委員から以下のように指摘された。</p> <p>(1) 委員 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いわゆる内部質保証体制の構築に向けた並々ならぬ努力も十分に感じ、非常に感銘を受けた。 <p>(2) 委員 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特に内部質保証体制の構築と改善サイクルを実際に回して実績を上げ、さらにこの場でアピールをなさるということについて、本当に労力がかかるものであることを重々理解しており、本当に感銘を受け、リスペクトのひとつに尽きる。貴学の取り組みは他大学の自己点検評価に携わる方々も含めて模範になるものと受けとめている。 ・ 教職員の方々に、自己点検評価の内部質保証に関して質問をさせていただいた中で、内部質保証の改善のサイクルが回っていて、実際にそのサイクルを回していく中で手応えを感じていることが窺い知ることができた。 <p>(3) 委員 C</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ここ数年、認証評価に関わらせていただいていることは、その大学の内部質保証の仕組みがきちんとしていて、実際に機能しているかどうかについては、認証評価を受審する過程で、大学がどのように対応して下さるかということに一番よく表れると思う。機構側から資料の不十分なところを指摘しても、その情報がどこかで消えてしまい、また同じものが出てきたりとかする大学もある。貴学は事前相談の時からお付き合いいただいているが、その都度、資料が整っていき、改善されていって、それが評価担当の責任者や教育担当の責任者などに情報が上がって対応されており、内部質保証システムを作ってそれをきちんと回しているということが、非常によくわかった。 <p>以上のように、調査委員3名より、本学の内部質保証システムの体制・運用・成果等について好評を得た。</p>		

B	対応部署	認証評価対応部会員（全学担当）
	具体的な、改善等の 対応状況	<p>【令和4年10月31日】</p> <p>認証評価対応部会において、意見交換結果では現行の内部質保証システムの体制・運用・成果等について上記のように好評を得、さらに重点評価項目である分析項目2-3-1~3について「改善を要する点」が指摘されなかったことから、現行の内部質保証システムに対して対応する措置を取らないことを決定した。</p> <p>なお、現行の内部質保証体制の下、様々な取組みを実施したが、不備な点等が散見され、自主的に、改善を進めることとしている。</p>
C	部会による確認（対応済み、対応不足の場合はコメント）	<p>【令和4年10月31日】</p> <p>措置を確認した。</p>

評価結果等を踏まえた改善シート

A	担当部会員	認証評価対応部会（全学担当）		
	基準番号	領域 2		
	分析項目番号	2-3-1~3	通算番号 (同一の分析項目の場合)	
	<p>1. 確認事項が含まれていない事項、改善などの対応が必要な事項など (令和3年度中を目安として改善完了)</p> <p>2. 更なる質の向上に向けて取組むことが推奨される事項など (今後の検討課題)</p>	<p>【令和5年2月1日】</p> <p>機構から提示された令和4年度実施大学機関別認証評価評価結果(案)において、</p> <p style="padding-left: 40px;">福井大学の教育研究等の総合的な状況は、大学改革支援・学位授与機構が定める大学評価基準に適合しており、内部質保証が優れて機能している。</p> <p>と総評された。</p> <p>このように、本学の内部質保証システムの体制・運用・成果等について高く評価された。</p>		
B	対応部署	認証評価対応部会		
	具体的な、改善等の対応状況	<p>【令和5年2月1日】</p> <p>認証評価対応部会において、現行の内部質保証システムの体制・運用・成果等について高く評価され、現行の内部質保証システムに対して対応する措置を取らないことを決定した。</p> <p>なお、現行の内部質保証体制の元、様々な取組みを実施したが、評価のプロセスや方法等において、継続性や効率化の観点から改善が見込める点が散見され、自主的に、改善を進めることとしている。</p>		
C	部会による確認（対応済み、対応不足の場合はコメント）	<p>【令和5年2月2日】</p> <p>対応状況を確認した。</p>		